

## 「マルチステークホルダー方針」

当社は、「人を育て、人々の生活を支援する」企業として、企業経営において、株主、投資家、従業員、取引先、顧客、地域社会等の多様なステークホルダーとの価値協創が重要であることを踏まえ、マルチステークホルダーとの適切な協働に取り組んでまいります。その上で、価値協創や生産性向上によって生み出された収益・成果について、マルチステークホルダーへの適切な分配を行うことが、経済の持続的な発展につながるという観点から、従業員への還元や取引先への配慮が重要であることを鑑み、以下の取組を進めてまいります。

### 記

#### 1. 従業員への還元

当社は、経営資源の成長分野への重点的な投入、従業員の人材育成等を通じて、持続的な成長と生産性向上に取り組み、付加価値の最大化に努めてまいります。その上で、生み出した収益・成果に基づいて、「賃金決定の大原則」に則り、自社の状況を踏まえた適切な方法による賃金の引上げを行うとともに、それ以外の総合的な処遇改善としても、従業員のエンゲージメント向上や更なる生産性の向上に資するよう、人材投資を中心に積極的に取り組むことを通じて、従業員への持続的な還元を目指します。

(個別項目)

具体的には、労使間の対話に基づき賃金の引上げを含む労働諸条件の改善に取り組むとともに、人材投資については、従業員の働きがいと個人の成長が、当社の持続的成長には不可欠との考えのもと、多面的な教育・研修の実施により、多様な人材の育成に取り組んでまいります。

#### 2. 取引先への配慮

当社はパートナーシップ構築宣言の内容遵守に、引き続き、取り組んでまいります。

- ・ パートナーシップ構築宣言の登録日

【2023年3月17日】

- ・ パートナーシップ構築宣言のURL

【<https://www.biz-partnership.jp/declaration/25561-08-00-tokyo.pdf>】

#### 3. その他のステークホルダーに関する取り組み

当社グループは、現在実行中の中期経営計画において、「つなぐ」を経営スローガンに、サプライチェーンはもとより、あらゆる事業や世界を「つなぎ」、さらには次世代に「つなぐ」ことを目指し、ステークホルダーの皆様と積極的な協働を通じて、社会に開かれた信頼される企業を目指し、持続的可能な「環境」・「社会」の実現に取り組んでまいります。

これらの項目について、取り組み状況の確認を行いつつ、着実な取り組みを進めてまいります。

以上

令和5年3月17日